

## 施策評価調書

### 1 施策の概要

(1)	施策名	青少年の仲間づくり					
(2)	総合計画の体系	第	4	章	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
		第	1	節	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
		第	50	細節	青少年の仲間づくり		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		18,191	18,239	19,414	
		従事職員数		3.25 人	4.05 人	3.85 人	
		所要人件費(B)		25,834	33,832	31,455	
		総事業費(A+B)		44,025	52,071	50,869	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	62	17	20
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	43,963			52,054	50,849		

### 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	助成している青少年対策委員会数	目標値 (単位:地区)	32.00	33.00	33.00
		実績値 (単位:地区)	32.00	32.00	/
目標値の積算方法	青少年対策委員会全地区(32地区)への助成 ※平成27年度から千里丘北小学校区を加算	達成度(%)	100.0	97.0	/
指標内容	成人祭参加者数	目標値 (単位:人)	2,894.00	2,800.00	2,900.00
		実績値 (単位:人)	2,100.00	2,000.00	/
目標値の積算方法	対象者の80パーセント	達成度(%)	72.6	71.4	/

### 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

それぞれの事業の実施にあたっては、様々な青少年関係団体の協力を得ており、また、その目的・対象も異なることから、優先順位をつける評価・判断が難しいが、長年実施してきた事業の中で、当初の目的を達成した事業や他と重複している事業等については、関係団体と協議しながら、廃止や統合などの見直しを進めている。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	吹田市・高島市少年キャンプ大会事業	青少年室少年自然の家	01107	全部	大	18	18	18	18	18	90	継続
2	自然観察会事業	青少年室少年自然の家	01353	全部	大	18	16	18	20	18	90	継続
3	吹田市成人祭事業	青少年室	00983	全部	大	18	18	18	18	16	88	継続
4	森林体験事業	青少年室少年自然の家	01106	全部	大	16	16	18	18	18	86	継続
5	青少年指導員活動事業	青少年室	00982	全部	大	18	16	12	20	20	86	継続
6	地域安全・青少年育成吹田市民大会事業	青少年室	00988	全部	大	18	16	18	18	16	86	継続
7	青少年指導者講習会事業	青少年室	00992	全部	大	16	16	16	18	16	82	継続
8	吹田青少年野外コンサート事業	青少年室	00985	全部	大	16	18	14	16	16	80	継続
9	ヤングフェスティバル事業	青少年室	00987	全部	大	18	18	12	14	18	80	継続
10	こども文化鑑賞事業	青少年室	00986	全部	大	14	12	14	20	16	76	継続
11	吹田市スカウトリーダー養成事業	青少年室	00991	全部	大	14	16	10	16	18	74	継続
12	吹田市青少年リーダー講習会事業	青少年室	00989	全部	大	14	12	12	16	18	72	継続
13	吹田市・若狭町こども会リーダー交歓会事業	青少年室	00990	全部	中	14	12	10	18	16	70	継続
14	吹田市こども会スポーツ大会事業	青少年室	00984	全部	中	12	12	12	16	16	68	継続
優先順位をつけるにあたっての考え方		青少年が参加するだけでなく、実行委員会等の場において、企画運営等に参画し、行事等を作り上げていけるものや施設の特徴を活かした事業を優先した。また、リーダー養成など、短期間で成果が現れにくい事業が多く、評価が難しいが、参加者の感想などから事業効果を評価し、優先順位をつける視点とした。										